

## 山形県観光復興対策実施計画 平成30年度評価調書

都道府県名	山形県	計画に包摂される市町村	県内全市町村(35)			
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	山形県 観光文化スポーツ部 インバウンド・国際交流推進課長			
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:人)	80,000	100,000	120,000	150,000	
指標②	外国人旅行消費額(単位:百万円)	5,400	7,800	10,100	13,000	
指標③						

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況	山形県の外国人観光客受入延人数の増加 H27:96,847人 ⇒ H28:127,731人 ⇒ H29:190,639人 ⇒ H30:252,289人【インバウンド・国際交流推進課 調査】					
2 定量的指標の達成状況	指標① 外国人延べ宿泊者数(単位:人)	目標値	120,000	目標値の実現状況に関する評価	これまで行ってきたトップセールスをはじめとする官民一体となった誘客プロモーションが実を結び、本県初となる台湾との国際定期チャーター便の運航が実現したことや、仙台空港や各県等と連携したプロモーション及び受入環境整備等を通じ誘客に努めた結果、宿泊者数の目標を達成した。一方で、シェアは全国の0.15%に留まっており、継続したプロモーションによる認知度向上とともに、観光資源の一層の磨き上げや滞在型コンテンツの充実を進めていく必要がある。	
		実績値	128,020 (確定値)			
	指標② 外国人旅行消費額(単位:百万円)	目標値	10,100	目標値の実現状況に関する評価		目標には届かなかったものの、受入環境整備や滞在コンテンツ充実強化事業の展開により、外国人延べ宿泊者数の伸び(前年比:1.30倍)を上回る増加率(1.98倍)となった。今後も、体験型コンテンツの高付加価値化やメニューの多様化など滞在型観光への転換を推進し、目標達成に向け一層の消費額の拡大を図る。
		実績値	6,535 (確報値)			
	指標③	目標値		目標値の実現状況に関する評価		
		実績値				
3 事業の進捗状況	交付金を活用した各種事業の積極展開により、外国人延べ宿泊者数は目標達成に向け着実に推移している。					
4 評価方法	自己評価のうえ、山形県国際戦略検証委員会において意見聴取					
5 中間評価の公表方法	山形県国際戦略検証委員会での意見聴取後に県ホームページにおいて公表					
6 計画全体の総合評価	本観光復興対策実施計画では、東北観光復興対策交付金を活用したインバウンド向けプロモーション事業と受入環境整備事業、滞在コンテンツ充実強化事業を重点的に実施した。その結果、宿泊者数は目標を概ね達成し、増加する外国人観光客に対して、ニーズに合致し、かつ時宜を得た事業を展開できていると考えている。消費額については、宿泊者数の伸び以上に増加したものの目標達成までには至らず、今後は、誘客拡大の取組みとともに、旅行消費額単価を増加させる取組みを強化し進めていくことが必要と考えている。					
7 今後の方針等	本観光復興対策実施計画においては、円滑に事業が進んでおり、引き続き実施計画に沿って事業を推進していく。目標値の達成に向けて、本県の強みである「雪」や「美食・美酒」を活かした積極的・継続的なプロモーションにより認知度向上を図るとともに、誘客を消費拡大に寄与するコト消費に結び付けていくため、夜から早朝にかけての体験プログラムの開発やコンテンツの高付加価値化などにより、「宿泊」や「周遊・滞在」を促す取組みを進めるとともに受入環境整備について引き続き積極的に取り組んでいく。					